

4. 腰各部材。

「定規縁」・「見切縁」・「テラス等の各部位材」・-----等。

※風雨にさらされる土間床面との取合か所の導水防止対策を施すこと。

5. 腰～壁見切部材。～(コーナー各部位材)。

「壁止め框」・「化粧付土台」・「押え縁」・「埋込用左官定規(面状部位)」・-----等。

「縁かづら」・「地覆」・「地覆長長」・「見切り付け縁」・-----等。

「濡れ縁各部位材」・-----等計測・計算し拾い出し、記載する。

6. 壁各部材。

「押え縁」・「付け柱」・「定規縁」・「下長押」・「上長押」・「雨押え(板)」・「見切り縁」
・「幕板」・「付け縁」・「泥障板」・-----等。

「雨戸戸袋」---(柱建て戸袋)・(妻板建て戸袋)・(妻板戸袋)・(張り流し戸袋)・(皿板戸袋)・
・(塗り込み戸袋)・-----等。

「廂」---廂は開口欠除部材の項として記載済み。

「庇」---(腕木ひさし)・(陸ひさし(洋風ひさし))・(七五三ひさし(猿頭ひさし))・(露除けひ
さし板ひさし)・-----等。

※出隅の納まりとして、絵振り板納め、招き納めとする。

「バルコニー」---建物内に取り込む構造(下の階に部屋がある)場合と、建物より
枯出した構造(枯出しバルコニー)の二種類に大別される。

各部材を(線状部位)とし、仕上げ面部材を(面状部位)として、計測・計算によ
る算出、拾い出しとする。

「換気孔部材」----(換気孔枠)・(組格子)・(ガラリ材)・(捨枠)---等。

7. 壁～天井(軒裏)見切部材。

「廻り縁」・「見切縁」・「押え縁」・「目地縁材」・-----等。

8. 天井(軒裏)部材。

「棹縁」・「格縁」・「見切縁」・「見切幕板」・「目切(縁)材」・「換気孔見切材(枠・捨枠)」
・-----等。

※天井板・裏板。～ 天井を古来は覆斗(ふくど)又は天蓋(てんがい)等と云っていた。

居室の床や壁の仕上げと相俟って、二階床組や小屋組を隠すことが時代と共に必
要となって、居室(内部の諸部位共)の頭上に仕上げを施した名称を天井と呼ぶ
枠になった。

裏板(化粧裏板材)。軒部分・庇部分・枯出しバルコニー部分・などではその
部位の名称の頭上(上部)ではなく、その呼び名の下部(下端)に化粧として仕上げ
た部分を裏板(化粧裏板材)と云う。

9. その他雑材。

建物外部に附属する工作物の部材(パーゴラ等)。外構工事に属さない部材。